

令和2年度 大阪教育大学 出前授業一覧(5月15日現在)

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
1	消費者市民になるために	高度教職開発系	鈴木真由子	期待される消費者市民の役割や求められる資質・能力などについて伝える。国内の動向だけでなく、海外の情報なども紹介する。	
2	心理学から見た学級経営～日本型学級経営と学級崩壊、不登校、いじめ～	高度教職開発系	水野治久	心理学から見た学級経営～日本型学級経営と学級崩壊、不登校、いじめ～	
3	不登校の児童生徒の心理学～どう援助するのか？	高度教職開発系	水野治久	現代的な不登校について講義などから学ぶ(音声出力必要)	
4	構成的グループエンカウンター(SGE)～子どもの人間関係づくり～	高度教職開発系	水野治久	学校現場で仲間作り、学級経営(クラス作り)の視点から導入されている構成的グループエンカウンター(SGE)を体験します。学級の人間関係をどう作るのか体験します。さらに、SGEを学校現場で導入するときの留意点、効果や限界についてもお話します。	
5	これから教師になるあなたへ子どもたちと心の絆を結ぶ7つの原則～	高度教職開発系	田中満公子	高等学校で長年生徒たちと関わってきた経験から編みだした7つの原則を軸に、心理学的見地から子どもたちとかわるヒントを伝えます。参加型です。	
6	自己開示-グループワークを通じて自分と相手を知ろう	総合教育系	牧郁子	自分を開示することによって、相手の反応を得ることができます。そして相手の反応を通じて私たちは、新たな自分の側面と出会うのです。本授業では自己開示ワークを通じて、他者から見た新たな自分の発見と相互理解を、体験的に学ぶことを目的とします。	本授業はグループワークを含みますので、それに対応可能な講義室・会場を考慮いただけますと幸いです。
7	記憶のしくみ	総合教育系	渡邊創太	記憶とはどのようなものであるのか、学習内容を効率良く記憶するにはどうすればいいかについて概説します。	
8	教師にまっすぐ！	総合教育系	池嶋伸晃	学校教育における教師の仕事とはどのようなものなのでしょう？参加者と一緒に多面的に考え、教職への理解を深めるきっかけづくりを行います。	
9	なぜ、勉強しなくちゃいけないの？～その疑問に答えられる先生になりませんか～	総合教育系	島崎英夫	「勉強」と「学習」はどう違う？「生きる力」って何？「学力」を英語に翻訳すれば、どう？こう尋ねられて、あなたは答えられますか。「主体的、対話的で深い学び」ってどんな学びなんだらう、「いい先生」ってどんな先生なんだらう、こんなことを高校生の皆さんと考えてみたいと思います。	
10	勉強に活かす心理学	総合教育系	高橋登	心理学を学ぶことで何が分かるのか、簡単な実験をしながらみなさんと考えていきたいと思います。	
11	考える力を鍛えましょう	総合教育系	和田良彦	この部門では、考える力をつけるための方法を学びます。方法はとっても簡単ですが、奥が深い方法です。例えば、考えに行き詰っている場面で新しい発想を生み出したり、あちらを立てればこちらが立たずという問題を解決する時などに使えます。今回は体験版部門ですが、時間内にスッキリ感を味わえるかも知れませんよ。	
13	教員をめざす人に伝えたいたった一つのこと	総合教育系	岡田耕治	「教員をめざす人に伝えたいたった一つのこと」というタイトルで、教員として働いていくときに、どんな力が必要なのかを、私の教職経験をふまえてお伝えします。	
14	生涯学習時代の大学入学	総合教育系	出相泰裕	今や社会に出る前に社会人として必要な知識を習得して社会に出ることは不可能となっています。また卒業後就職しても、社会の急速な変容に伴い、同一の職にとどまらなくなり、学び直して自分のキャリアをリセットする必要性に迫られる場面も今後ますます多くなっていきます。そういった社会環境の中で、学生はどういった意識で大学に入学すべきか？大学生活で身につけるべき資質は何か？教育社会学、キャリア教育、生涯学習論などの視点をを織り交ぜながら、お話をしていきます。	
15	教育協働の仕事とは？	総合教育系	出相泰裕	今や社会に出る前に社会人として必要な知識を習得して社会に出ることは不可能となっています。また卒業後就職しても、社会の急速な変容に伴い、同一の職にとどまらなくなり、学び直して自分のキャリアをリセットする必要性に迫られる場面も今後ますます多くなっていきます。そういった社会環境の中で、学生はどういった意識で大学に入学すべきか？大学生活で身につけるべき資質は何か？教育社会学、キャリア教育、生涯学習論などの視点をを織り交ぜながら、お話をしていきます。	
16	ことば遊びへの招待	多文化教育系	小野恭靖	しゃれ、なぞ、判じ絵、回文などの日本語のことば遊びを取り上げ、クイズも交えて講義します。	
17	日本語を楽しもう	多文化教育系	小野恭靖	漢字の音読みと訓読み、漢字の覚え方などの身近な日本語の問題を取り上げて講義します。	
18	国語科のアクティブ・ラーニング	多文化教育系	井上博文	物語づくりを通して能動的学習を体験する。	
19	若者言葉の意味論・語用論	多文化教育系	井上博文	若者言葉の意味論・語用論:若者言葉を言語学的に理解する。	

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
20	小論文の書き方 演習します	多文化教育系	野浪正隆	小論文の書き方を解説・実作・添削によって身につける。	パワーポイントが使える環境を用意してください。
21	哲学資源としての漢文教材、及び学び方の開発	多文化教育系	小路口真理美	対話による思考力(批判的・創造的・ケア的思考力)の育成を、漢文を用いての授業で試みる。形態は、p4c、ジグソー法等である。ただし、学生間の距離をかなり取らなければならない状況では、難しい。インターネットでの方法を検討中である。	
22	言語変化の仕組みを考えよう	多文化教育系	清田朗裕	日本語の文法変化・意味変化の仕組みを、さまざまな古典資料の読解を通じて理解させ、ことばの面白さについて考えさせる。	授業内容に沿うのであれば、たとえば、「授業で『伊勢物語』の「芥川」を扱ったので、その中に出てくる表現を絡めたものを」等のご希望も可能です。
23	「英語の先生に英文法好きが少ないのはなぜか？」	多文化教育系	寺田寛	英文法が大好きだという英語の先生は実は少ないようです。それは、学校では学校文法や伝統文法にのっとった英文法しか教えられていないこと、そしてそれには整理されていないところや矛盾しているところ、うまい説明がなされていないところがあるからです。英文法を無視しては英語が上達しないのに、英文法に力を入れ過ぎると英語がしゃべれない学生を生み出してしまふ。そこが英語教師の悩みの種です。そこで英文法への科学的なアプローチが必要なのですが、科学的アプローチでは高校生も大学生も理解するのが困難です。しかし科学的アプローチでしか説明できない問題が入試に出題されています。入試で点が取れないと受験生は不満なので、これからの英語教師は学校文法を教えるながらも、時おり科学的アプローチを織り交ぜた説明ができないといけなくなります。では科学的アプローチとはどのようなものか？例をあげてそのサビの部分をお話したいと思います。	スクリーンとプロジェクターをご用意いただければ幸いです。
24	発音のコツ～これだけで英語らしく聞こえる	多文化教育系	箱崎雄子	日本人の英語は、英語圏の人の英語と何が違うのでしょうか？どうすれば英語らしく聞こえるのでしょうか？答えは、英語独特のスピード感、リズムやイントネーションといった「プロソディ感覚」の習得にあります。講義では、少し工夫するだけでグッと英語らしく聞こえる「コツ」を伝授します。	
25	外国語理解の(とりあえず)2つのカギ	多文化教育系	橋本健一	外国語を理解できる(読める・聞ける)ようになるために必要なことのうち、「動詞の文構造情報への習熟」と「語彙認知の自動化」を取り上げて、どのようなトレーニングが有効かということも含めてお話します。	プロジェクターが使える環境だとありがたいです。
29	自由について考える	多文化教育系	倉本香	自由に決められることと決められないこと、その違いはどこにあるのでしょうか。また、そもそも私たちは自分の行為について自由に決めることができるのでしょうか。このようなことについて哲学・倫理的に考えてみたいと思います。	
30	キャリアデザイン・「運のよい生き方をおくるために」	多文化教育系	井上省三	日常の行動を少し変えるだけで「運のよい生き方」ができる。という話を軸に、ポジティブな生き方を実行してもらうきっかけを作る。	
31	ドイツ語のすすめ	多文化教育系	赤木登代	簡単なドイツ語レッスンとドイツ事情。	
32	文学作品の豊かさを読むための視点	多文化教育系	石橋紀俊	日本の近現代文学作品を具体的に取り上げながら、多様な読み方の一端を解説します。	
33	19世紀・20世紀のフランス絵画史	多文化教育系	井上直子	19世紀から20世紀のフランスの絵画の歴史を概観し、新古典主義からシュルレアリスムまで、具体的に様々な作品を見ていく。	
37	消費者市民社会ってどんな社会？	健康安全教育系	大本久美子	法律に示されている消費者市民社会の定義を説明し、どのような社会づくりがめざされているのかを知ったのち、受講者のディスカッションによって消費者市民社会のイメージを共有します。	
40	羊毛を知る	健康安全教育系	山田由佳子	羊毛を使ったフェルト作りを通して羊毛の性質を学ぶ。具体的には、直径1～2cmのフェルトボールの作成とそれを使ったマスコット作り等を行い、羊毛がフェルト化により収縮することについての理解を深める。	
42	「ICT活用型模擬授業『発見！こんなところにも数学が』」	理数情報教育系	上出吉則	上出研究室では、算数や数学の授業にICTを活用する研究をおこなっています。具体的には、Scratchという言葉で作成された創作プログラミング教材を授業で活用して学力向上につなげる研究です。創作プログラミング教材には、アニメーション、ストーリー、アツと驚く仕掛けなどがあります。授業には、驚きがあり、発見があり、感動があり、笑いの起こる展開になります。楽しいだけでなく、算数や数学をより深く理解できる授業が展開されます。しかし、肝心の創作プログラミング教材の完成には数カ月を必要とします。苦勞して創作したプログラミング教材が授業で活躍する姿を見ると感動で目頭が熱くなります。このように上出研究室ではICTを活用することで、21世紀型の未来の算数や数学の授業を創造することを目標にしています。今回の模擬授業ではその中から選りすぐりの創作プログラミング教材を体験していただきます。	模擬授業の時間は、60分または90分が可能です。ワークシートや教材などは、全てこちらで準備いたします。模擬授業のアシスタントは1名必要です。人数は60名までは可能です。(4名のグループ×15=60名)
43	絶滅危惧植物を育む里草地：大阪府の緑環境と絶滅危惧種のレフィージアとしての都市近郊の里草地	理数情報教育系	岡崎純子	絶滅危惧植物の保全について特に大阪近郊での里草地の重要性とそこに生育する絶滅危惧種の繁殖生態の研究の紹介をする。その内容としては1. 現在の大阪の緑の状況 2. 都市部に創出された里草地環境に生育する絶滅危惧種の紹介をおこなう。	
44	異常気象と地球温暖化 - デジタル立体地球儀で見る私たちの惑星 -	理数情報教育系	吉本直弘	近年、豪雨、干ばつ、熱波、寒波などの異常気象とそれに伴う自然災害が世界で多発しています。これらは地球温暖化によって引き起こされているのでしょうか。地球温暖化のしくみを学び、私たちの惑星の未来について考えます。	
45	台風や大雨による災害から身を守るために	理数情報教育系	吉本直弘	経験したことのない大雨によって発生する気象災害から自分や家族の身を守るために、情報を活用してどのように行動すれば良いのかについてワークショップ(体験型部門)を通して考えます。	

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
46	甲殻類学入門	理数情報教育系	生田享介	甲殻類と言えば、まず食材として身近なエビやカニを思い浮かべるでしょうか。では、カニの仲間ではない「カニ」を知っていますか？ザリガニはエビの仲間？ダンゴムシがエビ・カニに似ている？こんなテーマを通じて動物系統分類学や形態学の一端を紹介します。	
47	昆虫の仲間分け	理数情報教育系	生田享介	名前は「カゲロウ」や「トンボ」だけ違う仲間？ぶんぶん翔ぶハエ・ハチ・アブ・カを正しく仲間分けできますか？このような例を挙げながら、しばしば誤解や混同が見られる昆虫の目レベルの系統分類について概説します。	
48	色と光と有機化学	理数情報教育系	種田将嗣	私たちの生活を取り巻くもの一つに、色というものがあります。このさまざま色はどうやってできているのか、ということ簡単な模擬実験から掘り下げ、化学の観点で解説します。	
53	論理と数理パズル	理数情報教育系	町頭義朗	数理パズルを通して、数学的帰納法、背理法、合同式などの数学に不可欠な論理を学ぶ。	
54	はかってなんぼー分析化学入門ー	理数情報教育系	横井邦彦	五感に基づく計測と身の回りの水の分析に用いる化学反応。	
55	科学の基本	理数情報教育系	串田一雅	理科(科学のこ)を支える論理的な構造を見抜くことで、理科を一段高い視点から眺められるようにする。	
56	香料から液晶テレビまで ~鏡像異性体と旋光~そして未来のテレビ~	理数情報教育系	堀一繁	高校化学の授業内容にある「光学活性化合物」が、身近な物質だけではなく、現代社会を支えるハイテク素材にも使われていることを知ってもらう。	
57	Wi-Fiの世界を探る	理数情報教育系	尾崎拓郎	私たちの生活にWi-Fi(無線LAN)は欠かせないものとなりました。普段何気なく使っているWi-Fiについて、基本的な事項を抑え、今後それらのサービスを安全に利用する上で抑えておきたい事項を実習を踏まえながら講義を行います。(スマートフォン/タブレット端末/ノートPCがあれば実習環境を構築できます。)	
58	音楽を“ゆる～く”哲学しよう【高校生バージョン】	表現活動教育系	吉野秀幸	自分は音楽が好きで、演奏したり聴いたりして日々音楽に触れている。そうすると心がウキウキし、どことなく豊かな気持ちになる。しばしば大きな感動を覚えることもある。いったい音楽の正体とは何だろう。それを知りたいのだが、そうかと言って専門書を繙くのも少々ハードルが高い気がする。でもそれを探ってみよう。是非突き止めてみたい。このような思いに応えるために、音楽について語っている哲学者や思想家の考えをごくくわかりやすく、かみ砕いて紹介する。それらを通して、一人ひとりがなごやかに腑に落ちる言葉を見つけてほしい。	
59	彫刻体験:「粘土と格闘しよう！」	表現活動教育系	加藤可奈衛	普段なかなか体験できないようなスケールの量の粘土を使った、少し本格的な彫刻制作を通して、からだ全体を使った彫刻制作の楽しさを体験する。また、型取りなどの実際を紹介する。	
60	彫刻体験:「石と格闘しよう！」	表現活動教育系	加藤可奈衛	普段なかなか体験できないようなスケールの大きな素材・工具などを使った、少し本格的な彫刻制作を通して、からだ全体を使った彫刻制作の楽しさを体験する。	
61	彫刻体験:「鉄板で鏡を作ろう！或いは、鉄と格闘しよう！」	表現活動教育系	加藤可奈衛	素材としての鉄を知り、錆びた鉄板をびかびかになるまで(顔が映るまで)磨いてみる。また、簡単な工具などを使った少し本格的な鉄の彫刻制作を通し彫刻制作の楽しさを体験する。	
62	コラボレーションアートに挑戦しよう！	表現活動教育系	加藤可奈衛	現代アートの一端に触れていただきながら、コラボレーション・アートに挑戦します。普段なにげなく使っているお皿を使った作品など、五感全体を使ったアートの楽しさを体験する。	
63	エコなアートに挑戦しよう！	表現活動教育系	加藤可奈衛	現代アートの一端に触れていただきながら、環境を意識した素材などを使ってエコアートに挑戦します。環境に優しい素材の可能性を一緒に体験します。	
64	芸術書道の授業「かな文字を使って俳句を書いてみよう」	表現活動教育系	瀬川賢一	基本的なかな文字の線の書き方、文字の造形の取り方を学び、俳句を土のように書くと美しく書けるかを考え作品制作を行う。	
65	象形文字を筆で書いてみよう	表現活動教育系	出野文莉	甲骨文の成り立ちや内容の説明を行う。成り立ちの理解できた象形文字を筆で書いてみる。古代人の追体験を行って、古代人の考えていたもの感じていたものに思いをはせながら、筆で自分の思いを表現してみる。	
67	文化としてのスポーツ	表現活動教育系	太田順康	スポーツ基本法の前文には「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」とある。また保健体育科で「文化としてのスポーツ」を学習することになった。この世界共通文化のスポーツの意義・意味・成り立ちを解説し、スポーツをする人、見る人、支える人の育成に寄与する。	
68	運動観察について	表現活動教育系	古和悟	保健体育の教員免許に必要な「運動学」という講義の内容の中から、「運動観察」という問題について、簡単に述べる。	
69	学習指導要領改訂に伴い、これからの音楽科教員に求められる授業力	表現活動教育系	田中龍三	学習指導要領に示された、音楽科における資質・能力、音楽的な見方考え方について具体的な例を通して理解する。簡単なワークショップを通して、指導法を体験する。	
70	楽しく学べる合唱部門	表現活動教育系	寺尾正	①楽譜を用いずに音程感覚を養う②全ての演奏は聴くことから始まる③学びのプロセスをいかに楽しくプロデュースするか④ルーティンからスパイラルに	合唱部門と銘打っていますが、声楽曲(含む器楽曲)演奏において最も重要な「聴きながら演奏し、演奏しながら聴く」ことの基礎を学びます。『音程感覚をどうしたら楽しく習得できるか』がこの授業のテーマです。